

平成28年度 《第3回》 重粒子線 医工連携セミナー

平成28年6月24日(金) 17:00～

場所：群馬大学重粒子線医学センター
カンファレンス室

機械学習を用いた画像処理・情報予測

永田 毅 先生

みずほ情報総研株式会社

情報通信研究部 シニアマネージャー

(兼任) 筑波大学大学院 教授(グローバル教育院)

撮影デバイスの高度化、多様化に伴い、昨今大量の画像がストックされるようになってきており、現場は増大する人件費、目視検査のばらつき・ヒューマンエラー等に頭を悩ませている。熟達者のノウハウをソフトウェアで自動化出来れば解決出来る可能性がある。

そこで期待されているのが人工知能(機械学習)である。現在、人工知能は第3次ブームの真最中である。将棋や囲碁でプロが人工知能に負けた、というようなニュースが大きく取り上げられる状況で、人工知能への期待(不安)が独り歩きをしている感がある。かつてのブームの際にも、世間の期待と技術レベルの乖離が大きくなり、急速にブームが終焉することを繰り返してきた。

そこで本セミナーでは、機械学習についてまず概観し、主な基盤技術についてレビューしつつ、現在できることとできないことを明確にし、以下のような具体的な応用例について、事例ベースで紹介する。

[事例] 画像認識、異常検出、

3D人体データのレジストレーション、3D人体データのコンツリーング

= 共催 =



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
放射線治療人材養成8大学連携プログラム



博士課程教育リーディングプログラム
群馬大学 重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム

= お問い合わせ先 =

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪 (E-mail:inoino@gunma-u.ac.jp)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22 TEL: 027-220-8378